

子牛の寒冷期対策をしましょう!!!

生産本部 指導部 営農指導課 鶴田 優貴

気象庁の発表によると今冬はラニーニャ現象が発生し、九州は12月～2月の3か月の平均気温が平年より低い、寒さの厳しい冬となる予報が出ています。子牛期の呼吸器系の病気や下痢は増体を鈍化させるだけでなく、将来の乳量や繁殖成績にも影響を及ぼします。そこで、今回は呼吸器系の病気や下痢が多くなる寒冷期の対策を紹介します。

①外気温の変化とエネルギー要求量

気温が低くなると体を維持するエネルギー量が多くなります。下の表は気温と体重別の体重維持のために要求される代用乳の量を示しています。平均気温0度の時、20度から比べると代用乳を約2割～3割増量しないと体を維持することができません。増体を得るためにはさらに多くの代用乳を必要とし、環境も整える必要があります。

体重 kg	体温維持するための代用乳乾物給与量 kg / 日				
	気温 ℃				
	20	10	0	-10	-15
27	0.27	0.36	0.41	0.46	0.52
36	0.36	0.41	0.50	0.58	0.64
45	0.45	0.50	0.58	0.73	0.77
55	0.50	0.58	0.68	0.77	0.86

データ提供：全酪連

また、冬場は外気温が低いため代用乳の温度低下には十分注意が必要です。夏場、代用乳を溶かす際のお湯の温度は約40℃が基本となっていますが冬場の冷たい外気温にさらされると、お湯の温度はすぐに低下しますので、やや高めのお湯で溶かすと同時に冷めないように心がけて下さい。

また、冬場は外気温が低いため代用乳の温度低下には十分注意が必要です。夏場、代用乳を溶かす際のお湯の温度は約40℃が基本となっていますが冬場の冷たい外気温にさらされると、お湯の温度はすぐに低下しますので、やや高めのお湯で溶かすと同時に冷めないように心がけて下さい。

②防寒対策

哺乳期の子牛の適正温度域は15～25℃と言われています。この温度域を外れると体を維持するエネルギー量が増加するためエネルギー不足に陥り、増体が鈍くなります。直接風を当てないこと、ヒーターや防寒着を利用し寒さによるストレスを軽減させることが重要です。



防寒着は使い古した毛布等でも代用可能です。体を暖めてあげることが大切です。

③敷料について

清潔で乾燥した十分な厚さの敷料を用意してください。特に冬場の濡れた牛床は体温を低下させ下痢の原因になります。また、排泄物により有害なアンモニアガスが発生するため、敷料のこまめな入れ替え、又は追加投入することが大切です。



マットを敷き床冷え対策も有効です。

④換気について

冷風対策のため閉めきっている牛舎ではアンモニア臭がこもり、呼吸器系の病気の原因になります。また、湿度が上がることにより牛床等も濡れた状態になりますので日中の暖かい時間を利用して牛舎の空気を入れ換えて下さい。

以上、4つ①～④のポイントを同時に行うことが大切です。また、出生時の初乳も迅速（6時間以内に1回目）に飲ませて免疫力を上げておきましょう。呼吸器系の病気や下痢を防ぐためには、予防が大切です。子牛の観察や牛舎の換気、ペンを清潔にしましょう。尚、ヒーターを使用する際には、燃えやすい物を近くに置かないようにお願いします。

2年ぶり！出張ふれあい体験を行いました！

主催：熊本県酪農青壮年部協議会

今年も、県酪農青壮年部役員が搾乳牛と仔牛を引き連れて保育所へ出向き、搾乳や哺乳の体験を通じて乳牛や酪農を身近に感じてもらう「酪農ふれあい体験交流事業」を実施しました。18年目となる今回は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から開催規模を縮小・消毒の徹底等を留意し、11月10日(水)に熊本市東区にある「せんとぼりあ」で開催しました。

当日は、あいにくの雨模様であり開催も危ぶまれましたが、保育所や保護者の方々のご協力によりテントをご用意いただき、滞りなく開催できました。松田青壮年部委員長の挨拶や、先生方・園児による歓迎の挨拶があった後、搾乳体験から始まり、最初は見慣れない搾乳牛を前になかなか体が動かない園児が多く見られましたが、少しずつ牛に触り、体験を進めていくと園児たちの笑顔が次第に増えていき、続く哺乳体験の時には仔牛に

明るく話しかけながら哺乳ビンを支える園児たちが多く見受けられました。さらには、「もう1回していいですか？」と尋ね再度搾乳・哺乳体験をする園児もあり、たくさんの体験を楽しんでいたのだと思います。

また、今回の保育所に関しましては感染症の影響により多数のイベントが中止となっていたため、ふれあい体験を園児たちも非常に楽しみにしていたとのことでした。青壮年部役員も資材の搬入から体験の補助等を通じ園児たちとふれあいましたが、たくさんの笑顔に出会い、昨今のコロナ禍においても元気をいただきました。

今後感染症が収まり、以前のような日常へいつ戻るのか不安を抱く方々も多いところですが、酪農を通じて少しでも多くの笑顔を引き出せるよう当協議会においても一層の活動に努めていかなければならないと改めて実感する体験となりました。



熊本県ホルスタインショー開催

去る令和3年11月20日、益城町のJ A熊本市畜産センターで熊本県ホルスタインショー（熊本県乳牛改良同志会主催）が開催されました。

新型コロナウイルス対策として、関係者以外の入場を制限するなど、規模を縮小しての開催となりました。雲一つない絶好のショー日和の中、米野同志会会長による「次に繋げるための大会にしたい」との挨拶に続き、県内各地から38頭が出品され、熱戦が繰り広げられました。

審査員は坂本 勝氏（一社）家畜改良事業団）で、第1部から第10部の序列付けが行われました。

経産牛グランドチャンピオンには第10部出品の西本 道靖氏（大津支部）所有牛であるウエストロード OS アイオーン アリア RED号、未經産牛グランドチャンピオンには第4部出品の村田 瑞晃氏（球磨支部）所有牛スマイリー クララ エドワード デンバー レイリー号が選ばれました。

また、最高位決定審査の際には、学生を対象としてグランドチャンピオン予想も実施され、大いに盛り上がった大会となりました。



牛乳消費推進活動

去る令和3年11月8日、熊本県乳牛改良同志会による、冬場の牛乳の消費拡大を目的とした「牛乳消費推進活動」が開催されました。本活動は、コロナ禍の影響による生乳需給の緩和に対し、同志会役員自らが、酪農家として何かできないかとの思いから実施されたものです。

同志会としては初の試みで、熊本市の下通りCOCOSA付近にてカフェオレ・大阿蘇牛乳を合計約1,000本（500セット）無量配布しました。道行く消費者からは大変喜ばれた一方で、酪農業界が厳しい状況におかれていることを知らなかったとの声もあり、情報発信や理解醸成の重要性を再確認した活動となりました。



牛乳消費推進活動（熊本市の下通りCOCOSA付近にて）

第12回熊本県畜産まつり枝肉共励会

令和3年11月5日(金)に菊池市七城町の(株)熊本畜産流通センターに於いて、第12回熊本県畜産まつり枝肉共励会が開催されました。今回は熊本県畜産振興会の主催の元、本会、熊本経済農業協同組合連合会、熊本県畜産農業協同組合連合会の3連合会が初めて合同で参加する共励会として開催され、1部(乳用種)、2部(交雑種)、3部(褐毛和種)、4部(黒毛和種)の4部門、計128頭が出品されました。そのうち、本会からは1部に22頭、2部に6頭、4部に5頭の計33頭を出品致しました。

審査の結果、グランドチャンピオン賞には熊本経済連より出品された藤原正博氏(球磨郡あさぎり町)の黒毛和種・去勢(福之姫-安福久-第1花国)生体重753kg、枝肉重量513.6kg、BMS No.12、BCS No. 3、ロース芯面積111cm²、ばらの厚さ9.5cm(等級A-5)が選ばれました。本

会からの出品牛からは1部(乳用種)名誉賞2席に村上秀一氏(熊本酪)出品の経産牛、同じく1部(乳用種)優秀賞に平山一浩氏(JA菊池)出品の去勢牛、2部(交雑種)優秀賞に島田輝昭氏(熊本酪)出品の雌が選定されました。共励会当日に開催された褒賞授与式に続き、コロナ対策を十分にとりながら枝肉セリが開始され、静かなながらも活気のあるセリとなりました。セリの最後にグランドチャンピオン牛のセリが行われ、コロナ禍の影響を吹き飛ばす10,010円/kgの値を付け、例年を大幅に超える高値となり、大成功となる枝肉共励会となりました。また、グランドチャンピオン牛以外のセリ値も1部(乳用種)平均1,192円/kg、2部(交雑種)平均1,987円/kg、3部(褐毛和種)平均2,899円/kg、4部(黒毛和種)平均3,181円と全体としても高値となりました。(平均単価は枝肉重量の加重平均単価)

枝肉共励会出品データ(平均値)

	生後月齢(ヶ月)	生体重(kg)	枝肉歩留(%)	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	ばら厚さ(cm)	皮下厚さ(cm)	BMS No.	BCS No.	BFS No.	平均単価(円)
1部(乳用種) 経産牛平均	69.7	843.1	52.7	445.0	41.8	5.0	1.7	1.9	5.8	3.3	1,097
1部(乳用種) 若齢牛平均	22.8	781.5	59.8	481.0	46.6	5.6	2.4	2.1	3.7	2.7	1,408
1部(乳用種) 全体平均	56.5	831.2	54.8	455.1	43.1	5.1	1.9	2.0	5.2	3.1	1,192
2部(交雑種) 平均	26.5	861.0	62.5	538.1	58.5	7.5	2.9	5.2	3.6	2.8	1,987
3部(褐毛和種) 平均	26.0	767.9	65.3	501.9	63.8	7.7	2.7	5.7	3.3	2.7	2,899
4部(黒毛和種) 平均	29.7	800.3	66.5	532.3	82.6	8.8	2.2	10.7	3.7	2.5	3,181

*平均単価は加重平均で算出



島田輝昭氏出品 交雑種 雌
優秀賞 枝肉断面図



村上秀一氏出品 乳用種 経産牛
名誉賞2席 枝肉断面図

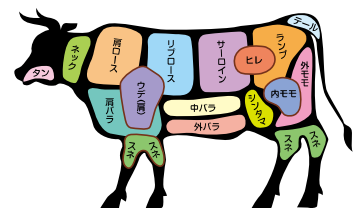


平山一浩氏出品 乳用種 去勢牛
優秀賞 枝肉断面図

枝肉共励会入賞者一覧

(順不同)

出品番号	出品組合名	出品者	褒賞
1部(乳用種の部)			
5	熊本酪農協	村上 秀一	名誉賞2席
21	菊池地域農協(旭志)	平山 一浩	優秀賞
2部(交雑種の部)			
31	熊本酪農協	島田 輝昭	優秀賞



COLUMN — コラム —

【自問自答】

……あなたは貴方自身をほめられますか……。

秋深まり、師走12月を目の前に、国内の新型コロナウイルス感染者が150名を切る日が続き、世の中は過去の教訓と我慢していたことを一気に爆発させる様に、繁華街や行楽地へと飛び出し賑わいを見せています。

そのような中、私は、このコラムに二回目のペンを握ることとなりました。前回は、『今、搾った生乳は人様に飲んで頂く！』と題して【自立】について書かせて頂き、思いがけない方々からそこそこの反響を頂きました。

そこで今回も、読んで頂く方の為にペンを握る。聞いて頂ける方の為に話しかけたいと思います。取り分け畏まったお話は苦手です。経験談として目と耳を拝借。

現在、社会情勢のみならず酪農業界でも大きな影響をもたらしたコロナ禍において、心配なのは、需給問題（乳製品の在庫対策）と、生産現場では、輸入飼料、燃油、肥料の急激な生産資材価格上昇に個体販売等の副産物収入の低下が加わり酪農経営は、自助努力だけでは対応しきれない状況にあることです。特に、目の前に迫った年末年始の販売不可能乳発生の可能性を危惧し、対応と対策について協力を促しているところです。さらに、今期は配合飼料価格安定制度による補填がありますが、大変なのは来期です。このことは、皆様もご周知のことと思いますし、幾度も繰り返し経験してきたことかもしれません。

そこで、今回、今年を振り返り、さらには過去を振り返りながら、将来を見据え我が家のビジョンを描いて頂きたい。自分があの時どうしてきたか、どうあるべきであったか。そのことは正しい選択であったかなど【自問自答】をテーマにペンを走らせたいと思います。

自問自答とは、読んで字のごとく、自分自身に問いかけて、自分で答える事を言い、よく小説などで表現される熟語です。時には、スポーツ選手が独り言のようにブツブツ呟く様子をテレビなどで見られたこともあると思います。この様は、自分に言い聞かせる。或いは自分に媚びする様子だと

一般的には言われています。

今年を振り返り、私の中で注目と記憶に触れるとプロゴルファー松山英樹選手



らくのうマザーズ 生産本部長
南部 顕弘

のマスターズ優勝を皮切りに、東京オリンピック、女子ソフトボール優勝を支えたエース上野由岐子選手、メジャーリーグ大谷翔平選手のア・リーグMVP（最優秀選手賞）の獲得そして、ノーベル物理学賞に輝いた真鍋淑郎氏、将棋界に旋風を巻き起こした藤井聡太竜王などが強い印象として残っています。この方々に共通しているものと申しますと、ただひたすら信じた道を歩み精進して来られたこと、決してその道は容易い道のりではなかったこと。それでも続けて来られたことは、その道が好きであったこと。そしてその賢明さに周囲の理解と協力があったからだ、それぞれのコメントから伺えます。

過去に、女子マラソン選手がゴール直後のインタビューにこんな言葉を残しています。「自分を自分で褒めてやりたい。」私は何て素晴らしい言葉だろうと今でも鮮明に記憶しています。

皆さんは、逆境は何度も経験しています。どうして今も酪農が続けて来られていますか。あの時出した答えは間違いではありません。何故なら答えは一つではないからです。自分なら出来る、あの時より大きく成長した自分がいるではありませんか。

年末を迎えた良い時期です。是非、【自問自答】しながら、これまで幸せな酪農道であったことに感謝しながら、将来のビジョンに向けて今一度自分を奮い立たせましょう。自分で納得できる答えを求めて。

昭和56年に本会に入会し幾度の人事異動を経た私の髪は、見た目の若さと一緒に去って行きましたが、今年8月1日より生産本部長を拝命し、身の引き締まる思いで毎日を過ごしております。

最後に、需給緩和の暗雲は必ず晴れます。皆さんの安心安全で風味豊かなおいしい牛乳を待つ一般生活者の皆さんがいるかぎり……。

肺炎予防のポイント

生産本部指導部技術課 黒木 博敏

寒い時期になると増えてくるのが肺炎などの呼吸器病です。

気管や肺といった呼吸器は外界と接しています。そのため病原菌が侵入してくる危険に常にさらされています。空気の通り道である気管や気管支に感染が起こると、病原菌を排除する力も落ちます。そのため病原菌が肺まで到達しやすくなり肺炎を起こします。

肺炎は一度罹ると回復するまでに長い時間がかかります。その間、次の感染が起こりやすい状態が続きます。このときに2次感染が起こるなど、さらに治りにくくなってしまいます。

一度受けた肺のダメージは元には戻らないため生産性にも大きなマイナスとなります。特に呼吸器病は罹ってから治すよりも、罹らないように予防に力を入れましょう。

肺炎予防のポイント

●良質な初乳

そのためにも母牛の健康は大事です。乾乳中の健康状態には気をつけましょう。

母牛にワクチンを打って初乳中の免疫力を高めるのも効果的です。

●換気

冬場は保温のために締め切った状態になりがちですが、短時間の換気でも十分効果があります。こまめな換気を心がけて保温と換気の両立をしましょう。

また、すきま風には注意しましょう。常に体に風が当たるのは体力を奪うので要注意です。

●敷料の交換

尿からのアンモニアの発生に注意しましょう。アンモニアは気管の粘膜を傷つけ病原菌が感染しやすい状態にします。

●消毒

牛床、哺乳器具の洗浄、消毒をしましょう。

●群飼

密になると換気、敷料ともに状態が悪化しやすくなります。

弱っている牛や感染した牛は別飼いにしましょう。

感染源となり群全体に広めてしまいます。

●観察

食欲、元気、咳、熱、呼吸、鼻水をよく観察しましょう。症状の出る数日前から熱が上がる人が多いようです。早期発見のためにも、調子がおかしいときは熱を測ってみましょう。



●ワクチン

肺炎を起こす原因にウイルスの影響も多くあります。ウイルスを防ぐにはワクチンが効果的です。

鼻腔内投与型ワクチン

近年、従来の注射型ワクチンに加えて、鼻腔内投与型ワクチンも登場しました。

従来の注射型ワクチンは全身免疫を高め持続性が長いものが多いのが特徴ですが効果が出るのにやや時間がかかります。

鼻腔内投与型ワクチンは病原菌の侵入経路と同じ方式で投与されるため、侵入してくる入り口の免疫力を素早く高める効果があります。

このすみやかに効果を高める力を利用して牛群内に肺炎の発生時や導入時などストレスのかかるときに、いち早く予防のために投与することができます。

また出生直後より投与可能なものもあります。出生直後に使用することによって、自然免疫力をあげ感染を防ぎ、さらにその後、注射型ワクチンを使用した場合に効果を高めることができます。

鼻腔内投与型 ワクチンの使い方

針ははずしてワクチン液を鼻の中にピュッといれます





ミルク市場 2021牧場ギフト受付中★

ただ今、牧場こだわり商品のギフトセットを販売中です★
ぜひ、この機会に皆さまの大切な方への贈り物にご利用下さい
●ご注文は、店頭窓口・FAX・メール・HPで承っています。



冬季限定★
ヌーシャテルチーズ解禁



乳製品



肉製品



手づくり本舗

冬おすすめ季節メニュー



開催期間/12月・1月
所要時間/(作)約30分+(焼)約30分
料 金/お1人 900円※2名から受付

期間限定メニュー

1教室4組限定
要予約



開催期間/12月11・12・18～25日
開催時間/①10:30 ②13:30
※12/20～12/22は、11時のみ開催
所要時間/約2時間30分
体験料金/1本3,000円 2本5,000円
(※1組4名様まで入室可)
お電話でご予約の際、
生クリームorチョコクリームの
いずれかをお選びください

12月からの体験教室について
教室内では体験に参加の方をはじめ、ご見学の方も必ずマスクの着用をお願いします。またご見学が多い場合、1組あたりの入室を制限させていただく場合がございます。皆様のご理解とご協力をお願いします。出来るだけ教室内ではお静かに過ごしていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止の為、下記教室の開催となります。

*12月の時間割()は所要時間です。

11:00	ストリングチーズ (約50分)	10:30	フォンダン ショコラ(約60分)
12:30	バターづくり (約50分)	12:45	フォンダン ショコラ(約60分)
14:00	ストリングチーズ (約50分)	15:15	フォンダン ショコラ(約60分)
15:30	バターづくり (約50分)		

各教室7組限定!※15分前までの受付
※定員となり次第受付を終了させていただきます。

●体験料金●

メニュー	お一人様
バターづくり	600円
ストリングチーズづくり	1200円
ウィンナーづくり(平日のみ)	1200円

★お待たせしました★

ウィンナーづくり12月1日より再開します♪
開催期間/当面の間平日のみ
開催時間/随時受付
※混雑した場合お待ちいただく場合があります。



来年はトラ年
だモオー

2022年1月2・3日

★10:00～10:30 動物のお出迎え☆
(10:00からミルクの振舞い 数量限定)

★動物わくわくレース①11:30出走 ②15:00出走

★お正月だよ! 牧場かるた取り大会

★11:50スタート ①(子どもの部)
★14:00スタート ②(無制限の部)
参加料金 お一人100円
※10分前から会場にて受付
※定員となり次第受付終了
※やむを得ず内容・時間に変更になる場合があります。

入場にあたってのお願い

- *発熱や風邪、味覚や嗅覚障害の症状がある方のご入場はご遠慮下さい。
- *マスクの着用、咳エチケット等のご協力をお願いします。
- *ご入場の際、検温を実施しておりますのでご協力をお願いします。
- *こまめな手洗い、うがい、アルコール手指消毒のご協力をお願いします。
- *ご入場中も、お客様同士の距離を空けて下さい。
- *混雑状況に応じて、施設内の入場制限を実施する場合があります。

阿蘇ミルク牧場 1月のご案内

1月2・3・4・5日と土日祝のみ
営業となります。

その他、平日は休業となっております。

乳業がより

12月31日までInstagramにて カフェオレ冬限定パッケージを対象とした キャンペーンを開催中！



こんな投稿が
きています！
みなさまの応募
お待ちしております！

本会公式アカウント
QRコード

